

事業概要

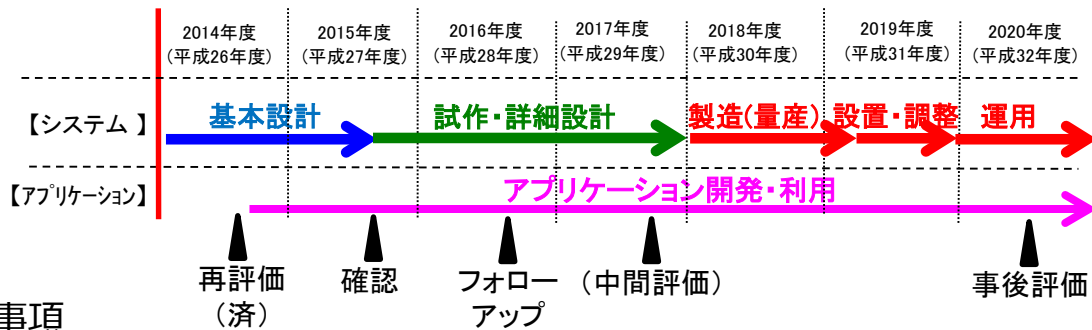
＜実施期間＞平成26(2014)年度～平成31(2019)年度 ＜予算額＞国費総額：約1100億円

2020年をターゲットとし、幅広いアプリケーションソフトウェアを高い実効性能で利用できる**世界最高水準のスーパーコンピュータ**と、我が国が直面する課題の解決に資する**アプリケーション**を協動的に**開発**する。

開発目標

- ・最大で「京」の**100倍のアプリケーション実効性能**（ターゲットとするアプリケーションソフトウェアを実行した場合の演算速度）
- ・**30～40MW**の消費電力（「京」は12.7MW）

【開発スケジュール】



評価経緯

○：有益と認められた点 ×：指摘事項

事前評価（平成25年度）

- 我が国の競争力の源泉となる最先端の研究成果を創出する強力なツールであり、**国として主導的に開発に取り組むべき**。
- ×**ターゲットアプリケーションやアプリケーション毎の開発目標**を設定し、**システム構成や工程表などを早期に具体化**すべきであることから、**平成26年度に再度の評価**を行う。

再評価（平成26年度）

- 世界最高水準の汎用性のあるスーパーコンピュータの実現を目指すもの**であり、**意義・必要性は改めて認められる**。
- 9つの重点課題の設定、ターゲットアプリケーションについての方針設定**等、事前評価での指摘事項に対応した進捗。
- ×スパコン開発の意義・必要性、有効性を一般国民も実感できるよう、**アウトカムを更に具体化、明確化**すべき。
- ×CPU製造の海外委託に際しての歩留りの確保等、**想定されるリスクへの対応策**の検討が必要。

×巨費を投じる製造段階（平成30年度～）を前に、開発目標の確実な達成に向け、

- ・**平成27年度**に文部科学省における**基本設計評価結果の確認**を行うとともに、
- ・**平成28年度**に**事前評価・再評価結果に対するフォローアップ**を行う。
- ・**平成29年度**には、文部科学省の中間評価結果を踏まえ、CSTIIによる**中間評価**の実施要否を判断。